

平成28年度事業報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月 31日

【平成28年度の重点事項】

- ① J A S制度を巡る様々な動向について、農林水産省の指導の下、関係団体と連携を図りながら、制度運用の適正化に努めた。
- ② 関係団体の協力を得て、下記の諸事業の実施を通じ、J A S制度の普及啓発等に努めた。

【諸事業の実施】

1. J A S 普及啓発事業

(1) 広報誌の発行

広報誌「J A S情報」については、J A S制度を中心とする内容の充実に努めながら、毎月1回発行し、J A S関係団体・事業者、関係行政機関、消費生活センター、消費者団体等に配布した。

(2) メールマガジン配信の実施

会員を対象として、J A S制度や講習会の開催等に関する有益な最新情報について、メールマガジン形式により、190号から203号にわたって配信した。

(3) 媒体広告の掲載

消費者団体の広報誌に、J A S制度に関する広告を掲載した。

(4) イベントへの出展

イベント概要	当日の様子
<p>第11回食育推進全国大会inふくしま 期日：28年 6月11日、12日 会場：ビッグパレットふくしま 福島県郡山市南二丁目52番地 主催：内閣府（平成28年4月より農林水産省に移管）、福島県及び第11回食育推進全国大会福島県実行委員会</p> 	<p>関係団体・企業の協力のもと、JASマーク品・ポスター・パネルの展示により、JAS制度の普及啓発を行った。</p> <p>展示されたJAS品を見ていただき、「JASマーク品でつくるお弁当ぬりえ」に参加していただいた。また、「くらしにいかそうJASマーク」の小冊子や、紙風船、ポケットティッシュなどを配布した。</p>  
<p>消費者の部屋 特別展示 「JASが保証するもの～JASマークをめぐる取り組み～」(同時開催：日々の食生活と食品新素材) 期日：29年3月13日～17日 会場：農林水産省 消費者の部屋 主催：農林水産省</p> 	<p>関係団体・企業の協力のもと、JASマーク品・ポスター・パネルの展示により、JAS制度の普及啓発を行った。</p>  

2. J A S 講習事業等

(1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品の J A S 認定申請製造業者及び認定製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を、次表のとおり実施した。

期 日 (2 日間)	場 所	受講者数	内 容
28 年 5 月 17~18 日	石垣記念ホール (東京)	137 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A S 制度について ・ 食品の表示について ・ 品質管理概論 ・ 確認テスト 「 J A S 制度と食品の表示」 ・ 食品の安全性 ・ 食品工場における衛生管理 ・ 品質管理活動の実際
28 年 9 月 13~14 日		139 人	
29 年 1 月 31~2 月 1 日		164 人	

(2) 有機関係 J A S 講習会の開催

有機加工食品の格付 (又は格付の表示) を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者を対象とする J A S 講習会を、次のとおり実施した。

期 日	場 所	受講者数	内 容
28 年 11 月 22 日	製粉会館 (東京)	68 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総論 <ul style="list-style-type: none"> ① J A S 法及び有機食品の検査認証制度 ② 有機加工食品の日本農林規格及び認定の技術的基準 ・ 各論 (「①②」と「③」のコース分け実施) <ul style="list-style-type: none"> ① 生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法 ② 小分けの方法及び格付の表示の方法 ③ 輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法

(3) 特別セミナー等の開催

(ア) 情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。

期 日	場 所	参加者数	内 容
28年8月30日	石垣記念ホール(東京)	83人	<ul style="list-style-type: none">・「食品表示を巡る最新の動向」 講師:内閣府消費者委員会 食品表示部会 委員 一般社団法人 日本農林規格協会 会長 池戸 重信 氏・「いつでも新鮮しぼりたて生しょうゆの開発と減塩・低塩しょうゆの取り組みについて」 講師:キッコーマン食品株式会社 執行役員 プロダクト・マネージャー室 プロダクト・マネージャー 田嶋 康正 氏・「地域食材を利活用した新商品開発とこれらを含むサービスや社会システムへの昇華」 講師:一般社団法人 食農共創プロデューサーズ 代表理事 長谷川 潤一 氏
29年1月26日	東京八重洲ホール(東京)	74人	<ul style="list-style-type: none">・「JAS制度の機能強化と戦略的活用について(JAS制度の見直し方向)」 農林水産省食料産業局食品製造課 食品規格室 室長 松本 修一 氏・「今後の食品表示制度の方向について」 内閣府「消費者委員会食品表示部会」委員/ 消費者庁・農林水産省「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」座長代理/宮城大学 客員教授/一般社団法人 日本農林規格協会 会長 池戸 重信 氏

※所属・役職名は、開催当時のもの

(イ) 時宜に適した食品表示セミナーを年4回開催した。

3. JAS規格集等作成配布事業

28年度にJAS規格等の制定及び一部改正された品目について、その内容を整理したJAS規格集を発行した。

4. 諸会議の開催

(1) 総会

当協会定款に基づき、次表のとおり総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
28年6月22日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度事業報告及び収支決算に関する件・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件・定款の変更に関する件・役員を選任に関する件

(2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
28年5月12日	製粉会館 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度事業報告及び収支決算に関する件・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件・定款の変更に関する件・役員候補者に関する件・平成28年度通常総会の開催に関する件
29年3月16日	製粉会館 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度事業計画及び収支予算に関する件・専務理事の退任の件

(3) 連絡協議会

当協会の団体会員の出席を得て、次表のとおり連絡協議会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
28年7月6日	製粉会館 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・情報提供及び意見交換 HACCP制度化の検討の状況について 情報提供者：(一財)食品産業センター技術環境部長 (厚生労働省「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会」委員) 川崎 一平 氏
28年10月28日 (林産関係)		<ul style="list-style-type: none">・講演 新しい森林・林業基本計画について 林野庁企画課：石井課長補佐(企画第1班)・意見交換

		①林業政策及び林産関係 J A S の動向について ②林産関係 J A S に関する意見交換
28 年 11 月 28 日		・ J A S 制度の機能強化と戦略的活用について 情報提供者：農林水産省 食料産業局 食品製造課 食品規格室 松本室長